

平成 17 年 10 月 17 日

## 各 位

会 社 名	株 式 会 社 エ イ ア ン ド テ ィ ー
代表者の役職氏名	代表取締役社長 松 崎 駿 二 (コード番号：6722)
問 い 合 わ せ 先	常務取締役管理ユニットリーダー 磯 村 健 二
電 話 番 号	0 4 5 - 3 1 7 - 1 2 5 2 (代)

**梅毒感染症診断薬 2 種類を新たに開発・販売**  
**～セット検査で梅毒検査の自動化を推進～**

株式会社エイアンドティー(以下、当社)は、**梅毒感染症診断薬 2 種類 (イムノティクルス オート3 TP、イムノティクルス オート3 RPR)**を開発し、10月18日より販売を開始いたします。

梅毒感染症の診断においては、感染の有無に加えて、感染後の治療の有効性、さらに手術時や入院時の感染の有無の事前確認など、従来から関連する複数項目の検査が実施され、総合的に判断が下されています。これらの検査項目の中でも、血清中に存在する梅毒を引き起こす病原体である梅毒トレポネーマに対する抗体を測定する方法と、梅毒の臨床症状を鋭敏に反映する梅毒脂質抗体を測定する方法は、ともに重要な項目として以前より測定されてきました。これらの測定は、これまで用手法が主流で、操作者による手技差及び判定差、操作者への感染の危険、判定までの時間が長いなどの問題が存在し、早期の自動化が望まれ、近年自動分析装置用の診断薬が開発されています。

このたび、当社の開発した診断薬は、これまでの開発経験と技術を活かした梅毒感染症診断薬です。梅毒トレポネーマ抗体測定試薬(イムノティクルス オート3 TP)は、当社従来品の改良試薬として、また、梅毒脂質抗体測定試薬(イムノティクルス オート3 RPR)は、この測定項目における当社初の製品として開発されたものです。両試薬の最大の特長は、検体中の梅毒トレポネーマ抗体や梅毒脂質抗体を、高感度、迅速かつ安定して自動測定することで、両項目合わせてわずか数 10 $\mu$ L の検体量で約 10 分後に結果を出すことができます。また、各社の汎用自動分析装置への搭載が可能であり、両項目のセット検査の実現は、梅毒感染症検査の自動化を推進します。

なお、両試薬合わせて3年間で4億円の販売を見込んでいます。

製品概要は次葉をご参照ください。

**【製品概要】****1. 名称**

梅毒トレポネーマ抗体測定試薬：イムノティクルス オート3 TP  
(承認番号：21700AMZ00717000)

梅毒脂質抗体測定試薬：イムノティクルス オート3 RPR  
(承認番号：21700AMZ00718000)

**2. 使用目的**

イムノティクルス オート3 TP  
血清中の抗トレポネーマ・パリダム(TP)抗体の測定  
イムノティクルス オート3 RPR  
血清中の梅毒脂質抗体の測定

**3. 測定法**

ラテックス凝集比濁法による光学的測定法

以上

<製品・販売に関するお問い合わせ先>  
株式会社エイアンドティー  
営業推進グループ  
Tel . 045 - 317 - 1273